

☆近畿ブロック研究・研修滋賀大会の中止について☆

今年度近畿ブロック研究・研修大会は滋賀県が幹事県として、当初2月13日（土）～14日（日）開催に向け準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、2021年度へ延期の方向で協議を重ねてきました。これを受け、去る7月4日に近畿ブロック代表者会議を開催し協議した結果、2020年度滋賀大会は中止とし、2021年度和歌山大会とすることと決定しました。中止の至った主な議論を下記の通りご報告いたします。

- ①近畿ブロックの幹事と研究・研修大会は一体的なものであることから、2年連続で滋賀が幹事を担うことに対する負担への配慮
- ②2021年度も引き続き幹事県を滋賀がやるとしても、同様の事態が来年発生した場合に、さらに滋賀が幹事を継続するのかという問題
→近畿ブロック研修・研究大会を実施するかどうかという枠組みでの議論ではなく、ブロック全体の幹事の位置づけの枠組みで考える必要性
- ③次々回幹事予定県がすでに会場押さえに入っており、現在中断しているという運営実務面の問題

なお、近畿ブロックの枠組みでは「中止」になりましたが、2020年度のコロナ禍においてソーシャルワーカーはどう動いたのか、ソーシャルワーカーが直面しているジレンマを記録することが必要である（そのことがアドボカシーとソーシャルアクションに繋がる）との認識を持っており、滋賀の枠組みで何らかのアクションを起こす必要があることを確認しています。

1年に1回、近畿ブロックの会員が集い、学びや交流を深める場として継続してきた大会ですが、今回の決定となりましたので、ご理解の上ご了承いただきますようお願いいたします。